

遠隔操縦ロボット

早稲田大学
WABOT-HOUSE
研究所



連携企業:フジカ化成(川辺町、FRP加工)
ロボット外装製作、防水加工

遠隔操縦ロボット

危険地帯や災害現場などで活動する遠隔操縦可能なロボットの開発を行っています。

全周囲の撮像可能なカメラを用いることで、周囲の環境を把握しながらの操縦ができます。

しかし、全周囲の画像データのサイズは大きく、また無線によるデータ転送を行うため、データの表示が実際の時間より遅れてしまいます。そこで、このロボットでは、未来を予測した画像を操縦者に見せることで、違和感の無い操縦を可能とします。

担当:岐阜研究所(橋本研究室)
富永講師

